

初転法輪

I.説法 法を説く決意

成道により、仏陀 (Buddha) となった釈尊は、七日間、その悟りの内容を再検討しながら、静かに喜びに浸られたと言います。その法の内容が、あまりに深く繊細であるため人々に正しく伝えるのが難しく、かえって人々を惑わすのではないかと考えられました。しかし、インドにおける最高神である梵天 (ブラフマン) の要請により、教えることを決意されました。このことを何と言いますか。
()

法輪をかたどった名号)



II.仏教の誕生 仏教がこのとき成立した)

説法を決意した釈尊は、真実の法を理解することができるのは、かつて修行を共にした五人の比丘であると考え、宗教都市ヴァラナシー () へと向かった。それから幾日も歩き通した釈尊は、やっとの思いでヴァラナシー郊外サルナトの鹿野苑で彼らと再会した。彼らは、釈尊の威容に驚き、雨期の生活を共にしながら、釈尊から真実の法を聞き続けた。そしてついに、そのなかの一人であったコーンダンニャが目覚め、さらに他の四人も次々と目覚めて、ついに縁起の法に目覚めた人は () 人となった。このように法 (ブッダの教え) が広まっていくことを、車輪が回転する様子にたとえて転法輪といい、特に、この鹿野苑での最初の説法を () と呼んでいる。ここに、目覚めた人 仏 = () ・真実の教え 法 = () ・仏の教えに感動し、歩み始めた人の集い 僧 = () という仏教で最も大切な三つの宝 () が成立した。そして釈尊を含めたこの六人がそれぞれに法を説き、次第に目覚める人や弟子となる人が世に出ることとなった。以後、今日にいたるまで、真実の教えに共感して仏弟子になる者たちは、この三宝への () を表明することで、仏教徒として生きる決意を明らかにしている。」



①上の文の空欄に適語を書いてください。(p77-78 参照)

②初めて説法された場所はどこですか。()

③初めて説法された五人の対象者をなんと言いますか。()

④人々の思いを表現する方法は、態度であったり、歌であったり、絵画であったり、踊りであったり、彫刻であったりとさまざまです。では、お釈迦さまの表現方法は、なんですか。()

⑤後に弟子たちに、文字として、まとめられたものを何と言いますか。()

※教えを説かないでいば、仏教は成立しなかった。※指月の喩：文字とは？言葉とは？

_____ 自己評価 (今日の授業を受けて)

該当に○をつける A:積極的に参加した B:普通 C:あまり関心がなかった。

_____ 感想欄 (今日の授業を受けて)

_____ 年 組 番 名前 ()